

審査支払機関の在り方に関する検討会について

平成22年12月 厚生労働省保険局

- 1 レセプト電子化の進展や医療費が増嵩を続ける中、適正な保険診療の確保、貴重な保険料等を原資とする審査支払事務の効率化への期待が高まっており、行政刷新会議や規制改革会議からも指摘。
このため、審査支払機関の在り方について、審査の質の向上、効率化の推進、統合と競争の両面から総合的に検討するため、平成22年4月に「審査支払機関の在り方に関する検討会」を設置。
- 2 検討会では、現地視察やゲストスピーカーからヒアリングするとともに、審査支払いシステムをめぐる課題について、幅広い観点から議論。事務局から統合と競争促進についての定量的な試算も提示。
11回にわたる議論を踏まえ、12月10日に「議論の中間的整理」をとりまとめ。
- 3 検討会では、引き続き、①統合と競争促進の観点からの組織の在り方の検討、②「厚生労働省・審査支払機関で具体化・検討することとした事項」の進捗状況のフォローを行う予定。

<検討会委員>

栗生田 良子	埼玉県毛呂山町住民課長
小木津 敏也	社会保険診療報酬支払基金 審議役
飯山 幸雄	東京都国民健康保険団体連合会 専務理事
岩田 太	上智大学法学部教授
遠藤 秀樹	日本歯科医師会 社会保険委員会委員
齊藤 寿一	日本病院会 参与
高田 清彦	中国電力健康保険組合 常務理事
高橋 直人	全国健康保険協会 理事
田中 一哉	国民健康保険中央会 常務理事
長谷川 友紀	東邦大学医学部教授
○森田 朗	東京大学大学院法学政治学研究科教授
村岡 晃	高知市保険医療課長
山本 信夫	日本薬剤師会 副会長
横倉 義武	日本医師会 副会長
渡辺 俊介	国際医療福祉大学大学院教授、東京女子医科大学客員教授

※高智英太郎（健康保険組合連合会理事）がオブザーバーとして参加 ※○は座長

審査支払機関の在り方に関する検討会の検討経過（平成22年12月現在）

平成22年

- | | |
|--------------|--|
| 第1回（4月8日） | 支払基金・国保連の現状と課題 |
| 第2回（4月22日） | 支払基金・国保連から「課題」の取組状況等を説明、議論 |
| 第3回（5月28日） | 審査の実施体制の論点について議論 |
| 6月21日 | 現地視察・ヒアリング（支払基金東京支部、東京都国保連） |
| 第4回（6月25日） | 審査の均一性の確保、差異の解消等の論点について議論
ゲストスピーカーからヒアリング |
| 第5回（9月16日） | ゲストスピーカー（6人）からヒアリング |
| 第6回（9月30日） | 審査の効率化、手数料について議論、ゲストスピーカーからヒアリング |
| 第7回（10月26日） | 支払業務、保険者業務及び法人運営について議論
ゲストスピーカーからヒアリング |
| 第8回（11月4日） | 総括的議論（1）：審査体制の在り方について議論 |
| 第9回（11月11日） | 総括的議論（2）：審査体制の在り方、統合・競争促進について議論 |
| 第10回（11月25日） | 総括的議論（3）：審査体制の在り方、統合・競争促進について議論 |
| 第11回（12月10日） | 総括的議論（4）：統合・競争促進について議論
「議論の中間的整理」をとりまとめ |

※議論の過程で改革に着手できるものについては順次着手。